

おしえて！

感染症さがみはら

2026年6月号

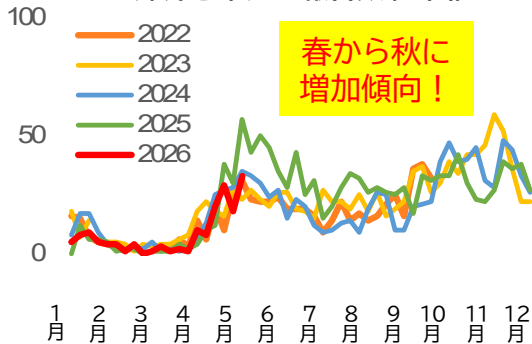


今月の注目疾患：ダニ媒介感染症

ダニ媒介感染症とは、病原体を保有するダニに刺されることによって起こる感染症で、ダニの活動が盛んな春から秋に報告数が増加します。

予防のためにはダニに咬まれないことが重要です。これからの季節、登山・農作業・キャンプなどの屋外作業をする方は特に注意しましょう。

ダニ媒介感染症の報告数(全国)



マダニはこんなところに
獣道、野生動物の出没する環境



民家の裏山、畑、あぜ道など



屋外作業前の対策



肌の露出を減らす

長袖・長ズボン(スパッツ)を着用する、手袋・帽子を着用する、首にタオルを巻く、足を完全に覆う靴を履く(サンダル等は避ける)など、露出の少ない服装を心がけましょう。

虫よけを使用する

有効成分として**ディート**や**イカリジン**を含む虫よけを使用しましょう。
※小児に使用する際は使用上の注意をよく確認しましょう

屋外作業後の対策



ダニを持ち込まない

建物に入る前に、服にダニが付着していないか確認しましょう。付着していた場合はガムテープ等で取り除きましょう。



咬まれていないかチェック

屋外活動後はすぐにシャワーや入浴を行い、ダニに咬まれていないか確認しましょう。



ペットの対策も万全に！

ペットを介して家庭内にマダニが持ちこまれる可能性があります。ペットが外から帰宅したら体にダニが付着していないか確認しましょう。あわせて、ダニ駆除・予防剤の使用も検討しましょう。

もし咬まれてしまったら…

○マダニ類の多くはヒトや動物に取り付くと、数日～10日間以上吸血します。

吸血中のマダニに気づいたら**自分で除去せず**医療機関を受診して下さい。

※無理に引き抜こうとするとマダニの一部が皮膚内に残って化膿する恐れがあります。

○咬まれてから数週間は体調の変化に注意し、**消化器症状・だるさ・発熱等**があるときは医療機関を受診しましょう。

受診の際は、
①屋外活動の日付 ②場所 ③発症前の行動
を伝えましょう。

マダニ吸血前後の
大きさ比較



○保健所医師のコメント

動物もSFTSに感染します。多くの動物は症状を示さない(不顕性感染)と考えられていますが、ネコやイヌでは発症率が高く、その場合の致死率はネコで約6割、犬で約4割と報告されています。また、発症した動物から体液等を介してヒトに感染した事例も報告されています。感染防止のためにも、ペットを守るためにも、マダニ駆虫薬を使用する等のマダニ対策を実施しましょう。

